

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育所
事業所名	アスク御殿浜保育園
代表者氏名（管理者）	園長 緩詰佳苗
法人名	株式会社 日本保育サービス
定員（利用人数）	0歳児6名、1歳児10名、2歳児11名、 3歳児11名、4歳児11名、5歳児11名
施設・事業所所在地	520-0834 滋賀県大津市御殿浜19番15号
T E L	077-531-2020
F A X	077-548-6028
電子メール	gotenhama_305@nihonhoiku.co.jp
ホームページアドレス	Nihonhoiku.co.jp/blog/gotenhama

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	2022年（令和4年）11月28日

### 3 評価の概要

#### ○ 総合評価

アスク御殿浜保育園は（株）日本保育サービスによる滋賀県で最初の保育園として平成28年、大津市御殿浜に開園しました。開園7年目を迎え徐々に地域に溶け込んできています。親会社は東証プライム上場の（株）JPホールディングスで、グループ企業全体で子育て支援事業を全国展開しています。グループで統一された運営理念、保育理念、保育方針があり、さらに社員自らが制定した行動指針「クレド」を常に携行し胸に刻んでいます。これらの土台の上に、アスク御殿浜保育園では「思いやりのある心豊かな子ども」を園の目標として保育を行っています。職員は株式会社が運営する保育園という事を特に意識することなく、しかし園は民間企業による運営のメリットを最大限活かして運営を行っています。保護者にとっては公立の保育園とはまた違った保育サービスが提供され、入園を考える際の選択肢が広がったことは有り難いことです。園では年7回、地域の未就園児を対象に来園の機会を設けています。園の努力により見学は徐々に増え、第一希望での入園も増えてきています。園は市内の住宅地にある為、郊外の園に比べると園庭、園舎はコンパクトにならざるを得ませんが、必要な機能は兼ね備え、随所に安全に配慮した工夫が見られます。園庭は都会の園によくある樹脂製ではなく、土の感触も大切にしています。夏はプールあそびと言う固定概念にとらわれず、水あそびにとどめながらも子どもにとっての楽しさは確保しています。

アスク御殿浜保育園が地域から選ばれる園になるには、全国展開する企業グループによる運営のメリットを最大限活かしつつ、当然のことながら園独自の創意工夫を發揮する事に尽きます。コロナ禍が長引き保護者とのコミュニケーションの機会が少なくなる中、御殿浜保育園では子どもの送り迎えを園の玄関先にとどめず、リスクを考えながらも教室で行っています。保護者と話す機会を増やし関係性を築こうとする努力がうかがえます。子どもにとって良い保育園は、保護者自身にとっても良い保育園である必要があります。御殿浜保育園では子どもと同等以上に、保護者の事を大切に考えています。これからもアスク御殿浜保育園への期待は益々高まると思われます。その期待に十分応え、地域から選ばれる魅力ある園になる事を期待します。

## ○ 特に評価の高い点

### ・ 地域で「選ばれ続ける」ための安心・安全な園運営

リスクマネジメントは全社で強化されています。月1回本社の内部監査が行われ、改善が必要な個所は改善指示書が送られてきます。園は具体的な改善案を示さなければならず、問題を先送りすることなく、即刻業務改善が図られています。事故発生時の対応は、アクシデントフローに沿って対応するようマニュアル化されています。重篤な事故は会社全体で情報共有され、各園で同様の事故が起きた場合の対応方法や防止策が検討されています。弁護士による研修では、職員は過失によるリスクについても講義を受けています。園の玄関の掲示板には、園だよりや園の様子が分かる展示がされており、園内での苦情連絡先と第三者委員も明示されています。

### ・ 地域で「選ばれ続ける」ための多彩な保育内容

小学校で履修が必須となった英語やダンスに対して、早い段階から楽しい遊びを通して自分から興味を持つような活動が行われています。元英語教師の職員が英語にも自然に慣れ親しめるように保育に取り入れています。ヒップホップダンスが得意な職員は園児に教え、園児は楽しく踊っています。生活発表会での披露を目標に支援が必要な園児も一緒に練習に取り組んでいます。運営会社が保護者に行ったアンケートからは習い事へのニーズが高いことが分かり、業務提携している学研の教材システム「もじかずランド」が別料金で利用できるようにしています。講師資格を持った職員が園児に対し、文字や数に興味を持ちスムーズに就学に繋がられるように取り組んでおり、約9割の園児が利用しています。

### ・ 地域で「選ばれ続ける」ための保護者の負担軽減

布団、エプロン、おしぼりは園専用の物があり、持参の必要はありません。洗濯の必要もなく、登園時の荷物が少なく済むことは保護者にとって大きな負担軽減になっています。家庭での家事の時間を、子どもと触れ合う時間や自分の時間に充てることで余裕のある育児を行うことができます。家庭において子どもと向き合うことが辛い状態になった時には、土曜日保育を利用することができます。また親子の関わりの様子が心配な保護者には、降園時などのタイミングでしっかりとコミュニケーションを取るようにしています。ニーズが判明すれば子ども家庭相談室と連携して対応ができています。

## ○ 改善を求められる点

### ・ 管理者によるリーダーシップの発揮

20代から70代の職員が勤務している中でバランスを取り調整を図る事は、さぞ気を使うで

あろうとご苦勞を察しますが、保育の向上に向け信念を持って突き進んで頂きたいと思えます。職員の中には有給休暇の取得希望を積極的に出す職員と、希望を出さない職員がいるようです。職員間で不満は出てないようですが、公平に希望を出せるルールや仕組みは必要です。小さな亀裂が大きな溝にならないとも限りません。子どもたちのために職員の意識の向上、改革は常に行う必要があります。リーダーとして臆することなく、積極的な行動が求められます。

#### ・ 地域との関係性の強化

御殿浜保育園は開園7年目を迎え徐々に地域に馴染んできましたが、更に緊密な関係を築くことが求められます。コロナ禍においては敬老会や園庭の開放など、対面で行う行事は不安定要素が有り、実施は困難になるかもしれません。非対面でも出来ることを考え、限られた条件の中で工夫を凝らし、地域との交流を図り関係性を深めていくことが望まれます。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園から7年が経ち、今年度はコロナ禍でなかなか取り組めずいた園庭開放を行うなど地域交流を深めるきっかけとなる1年となりました。保育園の立場からどのように地域に貢献していくことができるのか、今回ご指摘いただいた通り、まだまだ人が集まっての交流には困難も予想されますが、職員皆で様々な意見を出し合い工夫しながらより地域に根差した園となれるよう努めて参ります。保育士の処遇に関しても昨今よくニュースにもなります通り、改善が強く望まれる所です。職員一人ひとりが楽しく保育に取り組めるよう、働き易い職場環境づくりにより一層努力いたします。お褒め頂きました点につきましても、現状に甘んじることなくより力を入れて取り組み、保護者の皆様や子どもたちに丁寧な寄り添った保育を目指して参ります。この度はありがとうございました。

#### 5 評価項目毎の評価結果

( 別 添 )